第 5 章

保健･医療･福祉基盤づくりと連携

1 未病改善、ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発に係る取組実績･････････79
2 保健医療福祉計画の推進･･･80
3 保健医療福祉の基盤づくり･･･83
4 適正な保健･医療･福祉等の確保･･･85
5 健康危機管理対策 ･･･ 91

1　未病改善、ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発に係る取組実績

県央地域県政総合センターと連携し、厚木合同庁舎内に未病コーナー（平成 30 年度～）や県央地域の障害者地域作業所の手作り商品を展示するケースを設置（昭和 61 年度～）しました。

また、ともに生きる社会推進週間（令和 3 年 7 月 26 日～8 月 1 日）にあわせて、厚木合同庁舎内に県央地域の障害者地域作業所のＰＲポスターを掲示しました。

なお、前年度から継続して新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置として、県下全体で事業やイベントの中止・縮小を余儀なくされたため、管内市町村のイベント等と連携した普及啓発の取組みの実施について、取組実績を上げられませんでした。

2　保健医療福祉計画の推進

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成９年度～）

県央二次保健医療圏（厚木保健福祉事務所･厚木保健福祉事務所大和センター管内）の保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するため、県央地区保健医療福祉推進会議を設置し、平成29年度からは、神奈川県地域医療構想の県央構想区域の構想の達成を推進するために必要な事項を協議事項に加えています。

また、地域医療構想の推進に向けて県央構想区域内において検討するために、推進会議内に病院間の情報共有や意見交換等を行う県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループを設置して、平成30年度からワーキンググループを随時開催しています。

ア　県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内　　容	場　所	出席者数
９月８日	１　議題 (1) 令和３年度地域医療構想調整会議等の運営について (2) 県央地域の現状について ア 令和２年度病床機能報告結果（速報値）等について (3) 病床整備について (4) 地域医療支援病院の責務の見直しについて (5) 地域医療介護総合確保基金（医療分）について（報告事項） (6) 神奈川県循環器病対策推進計画の策定について（報告事項）	Web 会議	25
12 月 10 日	１　議題 (1)県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査結果について (2)意見交換（医療と福祉の連携について） (3)2025 年に向けた対応方針の更新について ２ 報告 (1)令和３年度第１回県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ結果について (2)定量的基準について (3)医療介護総合確保促進法に基づく令和３年度神奈川県計画（医療分）策定の概要について (4)病床整備事前協議の状況について (5)令和３年度基準病床数の見直し検討について	Web 会議	30
３月１日	１ 議題 (1)県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査の変更（案）について ２ 報告 (1)高齢者施設調査について (2)地域医療構想をめぐる国の検討状況等について	（書面開催）	29

イ　県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループの開催

開催日	内　　容	場　所	出席者数
11 月 17 日	1　議題 (1) ２０２５年に向けた対応方針について ・対応方針を更新する医療機関による説明等 (2) 県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査結果について (3) 意見交換（病院と高齢者施設との連携について） 2　報告 (1) 病床整備について (2) 県央地域の現状について (3) 令和２年度病床機能報告結果（速報値）等について (4) その他	Web 会議	42

(2) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域・職域連携推進協議会を設置し、働き盛りの世代を主な対象として、地域保健と職域保健が連携し、健康課題に対する効果的な対策等を推進しています。

ア　県央地区地域・職域連携推進協議会の開催（平成 27 年度～）

開催日	内　　容	場所	対象	参加者数
令和３年度は新型コロナウイルス感染症感染症対応のため開催見送り				

イ　県央地区地域・職域連携推進協議会ワーキンググループの開催（平成 27 年度～）

開催日	内　　容	場所	対象	参加者数
令和３年度は新型コロナウイルス感染症感染症対応のため開催見送り				

ウ　健康教育　　１回　　39 人

開催日	内　　容	場所	対象	出席者数
12 月 21 日	特定家畜伝染病（豚熱、鳥インフルエンザ等）発生時における防疫資機材の輸送に係る研修会「従事者の健康管理について」	神奈川県トラック総合会館７Ｆ大研修室	神奈川県トラック協会　協会員、県職員等	39

エ　その他普及啓発等

開催日	内　　容	対象	出席者数
	実施なし		

(3) 医療と介護の連携

2025年には、医療や介護が必要な高齢者が急増し、ピークを迎えることが見込まれています。このような状況の中、高齢者が尊厳を保ちながら、住みなれた地域で自立した生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供できる仕組み）の構築を国、県、市町村がそれぞれの役割の中で取り組んでいます。

厚木保健福祉事務所では、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携の推進を図ることを目的に、平成24年度から地域包括ケア会議を設置し、平成27年度に地域包括ケア・在宅医療推進会議として改編しました。

厚木保健福祉事務所地域包括ケア・在宅医療推進会議の開催（書面開催）

開催日	内　　容	場所	出席者数
３月	１　協議事項 ・『県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査』 について ・「厚木保健福祉事務所地域包括ケア・在宅医療推進会議設置要綱」の改正について ・厚木保健福祉事務所　地域包括ケア・在宅医療推進会議について ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた市町村の取り組みと県の連携方策について	（書面開催）	24

3　保健医療福祉の基盤づくり

(1) 保健衛生研修

開催日	内　容	場所	対象	参加者数
令和３年度は新型コロナウイルスの感染症感染症対応のため開催見送り				

(2) 保健福祉事務所実習指導

ア　地域保健実習合同セミナー･合同オリエンテーション

前期　令和３年４月 15 日（木）10 人　４月 16 日（金）44 人
後期　令和３年９月２日　（木）31 人、９月３日　（金）38 人
後期は、新型コロナウイルス感染症対応のため、開催方法を変更し「書面開催」としました。

イ　実習指導

保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数	備　考（学校名等）
総　　数	12	83	
保　健　師	2	9	北里大学、神奈川工科大学
看　護　師	4	50	横浜市病院協会看護専門学校、厚木看護専門学校看護（第一学科・第二学科）、県立保健福祉大学、湘南平塚看護専門学校
管理栄養士	5	19	県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、神奈川工科大学、相模女子大学、関東学院大学
歯科衛生士	1	5	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校

(3) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

ア　国民生活基礎調査
調査日 6 月 3 日　　対象数　4 地区　237 世帯

イ　2021 年社会保障・人口問題基礎調査「第 16 回出生動向基本調査」
調査日 6 月 30 日　対象数　3 地区　136 世帯

ウ　人口動態調査（月報）

エ　医療施設動態調査（月報）

オ　病院報告（患者票：月報）※年度報の従事者票は平成 28 年度をもって廃止

カ　地域保健・健康増進事業報告（年度報）

キ　母体保護に関する報告（年度報）

ク　医師・歯科医師・薬剤師調査
隔年、本年実施なし

ケ　歯科衛生士、歯科技工士並びに保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届
　　隔年、本年実施なし

コ　医療施設静態調査（3 年毎、本年実施）

サ　患者調査（3 年毎、本年実施）

シ　受療行動調査（3 年毎、本年実施）

(4) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア　市町村広報紙の活用

毎月発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ　厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせを掲載し、広く県民への周知を図りました。

ウ　ツイッターによる情報発信

幅広い年齢層に対し、より効果的に事業内容等の情報を伝えるため、ツイッターによる情報発信を随時行いました。（平成24年7月開始）

(5) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。

（活動した時間8時間を1人として換算）

区分	母子保健	健康増進	介護予防・生活支援	歯科保健	精神保健福祉	その他	計
歯科医師				3			3
保健師							0
歯科衛生士				3			3
管理栄養士		4	1				5
精神保健福祉担当							0
計	0	4	1	6	0	0	11

地域保健・健康増進事業報告　14（2）市町村への援助状況より

4　適正な保健・医療・福祉等の確保

(1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項目		病院		診療所			助産所	あんま・はり・きゅう	柔道整復	歯科技工所
		病院	X線装置等	一般	歯科	X線装置等				
総数		48	55	253	36	214	0	87	52	0
許可申請	開設			63	5					
	使用	20		0						
	変更等	23		21	4					
届出	開設・設置		17	63	8	110		22	12	0
	変更等	5	26	50	11	5		52	34	0
	休廃止		12	56	8	99	0	13	6	0

(2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

ア　病院立入検査

実施病院数　22

実施方法　　新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえて各病院による自主点検を実施

イ　診療所立入検査

令和３年度実施なし。

(3) 医療関係相談

ア　相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	6	2	7	2	2	1	2	1	1	0	1	29

イ　相談方法

電話	来庁	手紙・メール	合計
28	1		29

ウ　対象施設

病院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他	合計
3	12	8	2	3	28

※複数施設相談のため重複あり

エ　相談内容

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	8
医療行為についての疑義、苦情	5
医療関係法令に関する照会	4
医療機関についての問い合わせ	2
その他	11

(4) 介護保険

ア　集団指導(平成 13 年度～)

例年、介護保険指定事業者等を対象に、介護給付サービスの取扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点、指導事例等について、県高齢福祉課及び各保健福祉事務所が共同で、講習会を開催していますが、今年度は、ウェブサイト「介護情報サービスかながわ」への資料掲載及び動画の配信をもって代替措置としました。

実施期間	方　法
12 月 15 日～3 月 31 日	「介護情報サービスかながわ」へ資料掲載及び動画配信

イ　実地指導（平成 13 年度～）

実地指導は、介護保険指定事業者等の事業所に出向き、帳票類等関係書類の閲覧や関係者の面談により、人員、運営基準等の遵守状況を確認し、改善に向けて指導を行うものです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施計画の大幅な中断・変更があり、例年を大きく下回る実績となりました。

実地指導実施状況（サービス数）

区分		厚木市		大和市		海老名市		座間市		綾瀬市		愛川町		清川村		合計	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
居宅サービス	訪問介護															0	0
	訪問入浴介護															0	0
	訪問看護															0	0
	訪問リハビリテーション															0	0
	通所介護	2		1												3	0
	通所リハビリテーション	1	1	1	1											2	2
	短期入所生活介護					1	1									1	1
	短期入所療養介護	1	1	1	1											2	2
	特定施設入所者生活介護															0	0
	福祉用具貸与															0	0
	特定福祉用具販売															0	0
	計	4	2	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5
介護保険施設	介護老人福祉施設						1										1
	介護老人保健施設		1		1												2
	介護療養型医療施設																0
	計		1		1		1		0		0		0		0		3
合計			7		6		3		0		0		0		0		16

【参考】Zoom等によりヒアリング及び書面審査を行った事業所数

区分		厚木市		大和市		海老名市		座間市		綾瀬市		愛川町		清川村		合計	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
居宅	福祉用具貸与			6	6	2	2									8	8
	特定福祉用具販売			6	6	2	2									8	8
	計	0	0	12	12	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16

※　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現地を訪問しない実地指導を行いましたが、年度末に「現地確認は必須」との国の見解が示されたため、国への報告件数には含めていません。

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項目	総数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	診療放射線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	歯科技工士	受胎調節実地指導員
登録申請	448	27	5	39	10	3	192	1	46	43	6	23		36	15	1		1
籍訂正	292	11	0	37	17	2	130	7	24	34	2	8		13	7			
再交付	32	2	1	3			9	4	3	3	1	3		3				
登録抹消	5	2	2					1										
返納	2						2											

(6) 献血

令和３年度、神奈川県献血目標の 99,360 人のうち厚木保健福祉事務所の目標は 8,573 人（3392.8 リットル）と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、6,373 人に献血をしていただきました。

ア　献血数・目標数（市町村別）

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）
総数	8,573	6,373	182	458	8,391	5,915		
厚木市	1,829	1,602	38	132	1,791	1,470		
海老名市	4,920	3,409	108	270	4,812	3,139		
座間市	1,123	750	28	33	1,095	717		
愛川町	657	566	6	18	651	548		
清川村	44	46	2	5	42	41		

イ　年次別献血数・目標数

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）	目標数（人）	献血数（人）
平成 22 年	12,779	10,531	418	101	12,361	10,430		
平成 23 年	8,543	9,515	523	103	8,020	9,412		
平成 24 年	9,009	9,470	271	196	8,738	9,274		
平成 25 年	8,639	11,131	259	553	8,380	10,578		
平成 26 年	8,551	9,751	431	412	8,120	9,339		
平成 27 年	8,689	10,575	635	574	8,054	10,001		
平成 28 年	9,229	9,922	463	468	8,766	9,454		
平成 29 年	10,158	9,278	470	418	9,688	8,860		
平成 30 年	9,052	9,394	286	417	8,766	8,977		
令和元年	9,948	9,298	286	410	9,662	8,888		
令和２年	9,671	7,746	239	320	9,432	7,426		
令和３年	8,573	6,373	182	458	8,391	5,915		

(7) 表彰

ア　神奈川県保健衛生表彰（知事）〔令和３年度：令和４年１月 31 日：式典は中止〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	今岡　千栄美	医師　今岡医院
	中村　省司	医師　中村整形外科
	林　祥子	准看護師　とうめい厚木クリニック
	岩見　妙美	准看護師　広井内科医院
	鷲塚　明子	看護師　厚木市立病院
食品衛生関係功労者	内山　百合子	飲食店営業　美人スナック　うそつき
地域公衆衛生活動関係功労者	川島　多希子	

施設の部

施設名	業種	施設の所在地
関野鮮魚店	魚介類販売業	海老名市国分寺台

献血推進団体（知事表彰）

表彰団体名	所在地
愛甲商工会　青年部・女性部	愛甲郡愛川町角田

イ　保健衛生表彰（厚木保健福祉事務所長）〔令和３年度：令和３年 11 月 30 日：式典は中止〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	青木　一真	医師　青木医院
	服部　智任	医師　海老名総合病院
	菊田　正彦	医師　菊田医院
	中島　晃	歯科医師　中島歯科医院
	大野　宏	歯科医師　おおの歯科医院
	永野　芳郎	歯科医師　永野歯科医院
	松崎　裕子	薬剤師　㈱ｲﾉﾍﾞｲｼｮﾝｵﾌﾞﾒﾃﾞｨｶﾙｻｰﾋﾞｽ
	宮崎　睦子	薬剤師　あい薬局海老名店
	門谷　伸子	看護師　厚木佐藤病院
	山手　栄男	マッサージ師　中村整形外科
	東小野　綾子	歯科衛生士　アップル歯科クリニック
	片岡　令安	診療放射線技師　東名厚木病院
	高橋　妙子	准看護師　相州病院
	濱野　砂織	歯科助手　ショー歯科医院
環境衛生関係功労者	月本　浩二	理容師　ヘアーサロン月華
	守矢　昭子	美容師　トーア美容室
食品衛生関係功労者	大澤　邦守	食肉販売業　大澤精肉店
	小倉　正美	乳類販売業　明治牛乳高峰販売所
	藤井　利道	菓子製造業　カスタード洋菓子店
地域公衆衛生活動関係功労者	岩澤　ナカヱ	
	矢後　早苗	保健師　愛川町役場

優良施設

施　設　名	業　種	施　設　の　所　在　地
Hair Studio FROU FROU	美　容　業	厚木市妻田東
セブン-イレブン愛川半原店	飲　食　店　営　業	愛川町半原
浪花そば	飲　食　店　営　業	厚木市下荻野

献血推進団体（厚木保健福祉事務所長表彰）〔令和3年度：令和3年9月14日：式典は中止〕

表　彰　団　体　名	所　在　地
NTT 厚木研究開発センタ	厚木市森の里若宮
厚木さつきライオンズクラブ	厚木市寿町
地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	海老名市下今泉
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会県央支部	厚木市水引

5 健康危機管理対策

(1) 県央地域災害医療対策会議（平成 27 年度～）

神奈川県保健医療救護計画に基づき、神奈川県保健医療調整本部（以下「県保健医療調整本部」という。）と連携して、県央地域における災害時医療救護活動等をコーディネイトするため、県央地域災害医療対策会議を設置しています。

平成 29 年度より、県央地域災害医療対策会議を相模川の東部地区と西部地区に分けて、東部会議と西部会議での開催としました。令和３年度は新型コロナウイルス感染症への対応に注力したため、開催を見送りました。

(2) 高病原性鳥インフルエンザ対策

ア　高病原性鳥インフルエンザ発生時対応訓練への参加

神奈川県高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応マニュアル等に基づき、管内の養鶏農場での鳥インフルエンザ発生を想定し、現地農場での実動を交えながら、実践的な防疫作業の流れや課題を確認し、関係機関・団体との調整やマニュアル類の見直しを行うことを目的とした訓練へ、現地危機管理対策本部保健予防班として参加、協力しました。

１日目　日時：令和３年 10 月 20 日(水)　９時 00 分～11 時 00 分
場所：各機関参加者の自席
内容：初動時の情報受伝達訓練

２日目　日時：令和３年 10 月 21 日(木)　10 時 30 分～16 時 30 分
場所：管内農場
内容：現地農場での実動訓練、消毒ポイント訓練

【各訓練の内容】

・初動時の情報受伝達訓練
実際に連絡で用いる想定の通信機器（電話、メール等）を利用し、訓練参加機関と連絡調整

・現地農場での実動訓練
住民説明会訓練、防疫作業訓練（殺処分作業者、物資搬入・搬出の現地、密閉容器包装作業各拠点場所の確認）の実施

・消毒ポイント訓練
テント等資機材設置場所、消毒車両の誘導・出場の動線、消毒ポイント運営上の留意点の確認

【保健予防班としての役割】

現地農場での実動訓練において、殺処分作業者の防護服の着脱場所・方法についてデモンストレーションを実施

イ　豚熱発生時の後方支援

令和３年７月８日相模原市内の養豚農場で豚熱の患畜が確認され、県央地域に現地危機管理対策本部が設置され、相模原市との合意に基づき、神奈川県総合防災センターに開設されたベースキャンプ及び現地農場において、防疫作業の後方支援活動要員として防疫従事者の健康観察や防護服着衣指導の初動対応を実施しました。

支援期間：７月８日（木）～15 日（木）24 時間体制
（7 月 11 日～13 日作業中断のため現地での対応はなし）

対応職員：延べ 18 名が対応

内容　　：発生時の情報収集
ベースキャンプ内「健康観察」「防護服着衣」ブースの設営
防疫従事者の従事前後の健康観察
防護服の着脱指導
関係機関との調整、引継ぎ

(3) 新型インフルエンザ等対策

目的：新型インフルエンザ等が県内で発生した場合に備え、保健福祉事務所、センターにおける役割や連絡体制等を確認し、発生時の体制強化を図る。

ア　情報伝達訓練
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組のため行わず

イ　地域における訓練
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組のため行わず

ウ　新型インフルエンザ等地域医療体制対策会議
（感染症対策会議と合同開催）
新型コロナウイルス感染症への対応に注力するため、開催中止となりました。

開催日	内　　容	構成機関	出席者数
1月19日（中止）	・感染症対策について ・神奈川県の新型コロナウイルス感染症の発生動向について ・新型コロナウイルス感染症対策の経緯及び管内の準備状況について ・神奈川県の新型コロナウイルス感染症の今後（第６波）に向けた体制について ・医療機関等の対応状況について	関係医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、警察署、市町消防本部、市町村健康危機管理主管課、県衛生研究所、県医療危機対策本部室、県央地域県政総合センター、厚木保健福祉事務所	－名